|  |  |
| --- | --- |
| **ゼミ名** | 中村周史ゼミ |
| **学年** | 2年 |
| **メンバー** | 東海林航太・白土拓海・吉原大喜 | |
| **研究テーマ** | 首長の性別要因が財政支出に及ぼす影響 | |
| **要約文** | 本研究の目的は、女性知事は女性の関心が深い政策分野に対しての財政支出を積極的に増加させるのかどうかを明らかにすることである。女性の政治的な過小代表の問題に関する既存研究は、「女性議員が少ない原因」と「女性議員を増加させる方法」の2点に注目している。しかし、それらの研究の根底には「政治的代表者の性差が積極的に実施する政策に偏りを生じさせている」という仮定が存在する。たとえば、男性知事であっても女性が強く関心を寄せる分野への積極的関与があるならば、性別に注目した過小代表の問題は意味をなさない。しかし、日本における既存研究ではこれらは所与とされており、定量的に分析をしたものは見当たらない。そこで、この仮定が日本において成立しているのかを明らかにすることが本研究の目的である。  本研究では「47都道府県の2000年から2019年までの財政支出のパネルデータ」を用いて、パネルデータ分析によってこの仮説の分析を行う。分析の結果、女性首長は女性が男性と比較して、より関心を持っている分野である「教育費の割合」を増加させていた。つまり、女性の政治的過小代表の問題の仮定は日本において成立していることが明らかとなった。 | |